

畜産アンバサダー


栃木県立那須拓陽高校
3年 田中 萌絵

参加の理由 = 那須拓陽高校に入学し、牛部に入部して酪農に魅力を感じ、将来酪農に関連する仕事に就きたいと考えるようになり、NZの放牧中心の酪農経営を実際に学びたいと思ったから。

NZに行くって学んだこと



放牧について

- ・ 子牛の頃から放牧しているため、哺乳のタイミングや水分補給が大切
→ カフェテリアと口牛は出る機械で哺乳をしている
この哺乳を観察することで、本言詞を把握！
- ・ 日本では搾乳牛に濃厚飼料を多く与え、乳量を増やしているが、病気も増えている
→ その結果、日本の搾乳牛の耐用年数は約5年、NZは約8年~10年
- ・ 経営に関して、自給飼料中心の放牧は、一頭あたりの乳量は少ないが利益を出すことが出来る。

⇒ 地元、栃木で発展させたい

栃木県の那須地域

┌	農業が盛んな地域	but	牧草地で牛が草を食べている姿を見かけない
	観光客が多く訪れる		

☆ 放牧によるコスト軽減、キウイクロスのような放牧に適した牛を作る！

☆ 小さくて放牧しやすい牛は乳質を良くし、リゾート地域を利点に、チーズやアイスクリームなど付加価値の高い製品を作ることによって地域全体が活性化するのはないか！

私がこれから出来ること

JA全農ET研究所でAI師とET師の資格を取得し腕を磨き、地元栃木の酪農に貢献したい。

女性でも出来ることを証明する

